

事務事業名		環境保全対策事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	くらしと文化部
総合計画体系	基本政策	5	安心・安全な住みよいまちづくり	課・室	環境課
	政策	04	衛生環境の向上と資源循環型社会の構築	係	環境係・衛生係
	施策	01	環境衛生の向上及び美化の推進	内線電話	247・458
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	4款	衛生費	未計上	
	項	1項	保健衛生費	実施期間	
	目	6目	環境衛生費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	市民、事業者、市	中野市の恵まれた自然環境を守り、将来に継承していく。	
	市民	浄化槽区域内にある一般家庭の浄化槽設置促進を図る。	
現状・課題	中野市地球温暖化防止実行計画における市の事務・事業に伴い排出される二酸化炭素排出量が平成26年度と比較して微減傾向にあり、一層の排出量削減に向けた取組が必要である。		
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	中野市環境基本条例	
事務事業概要	環境保全活動を自ら率先して行動するために、地球温暖化防止実行計画の推進、環境マネジメントシステムの運用等により、環境負荷の低減と環境保全への貢献を図る。		
令和2年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量
	浄化槽設置事業補助金の交付		3基

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算		円	11,219,000	8,207,000
補正・流用等		円		47,000	—	
合計		円	11,219,000	8,254,000	5,009,000	
決算（見込）額 A			円	9,490,176	8,254,000	—
R2は予算額	財源内訳	国庫支出金	円		1,351,000	511,000
		県支出金	円	411,000	1,351,000	411,000
		市債	円			
		その他特定財源	円	354,496	361,000	368,000
		一般財源	円	8,724,680	5,191,000	3,719,000
		正規職員数	人	2.17	2.26	2.29
		人件費 B	円	13,961,780	14,558,920	14,752,180
		総事業費 A+B	円	23,451,956	22,812,920	19,761,180
		市民1人当たりコスト	円	548	536	466

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
合併浄化槽設置整備事業補助金		減少	目標	10	基	10	基	3	基
			成果	3	基	1	基	—	
			目標						
			成果					—	
成果指標と目標値を設定した理由	浄化槽の設置を促進し、下水道区域外での生活排水処理の向上を図る。								

令和2年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	浄化槽未設置者に対し、広報や訪問などで浄化槽設置を呼びかける。						

